

第 21 章 神明後遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

神明後遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の東約 300m、さかい川の谷頭部から約 1,500m 下った右岸に位置し、標高 12～16m、現谷底との比高差は 1.5m を測る。さかい川は本遺跡付近から崖を形成し始め、本遺跡をのせる南側台地は急斜面、対岸の北側は緩やかな斜面を形成している。

周辺の遺跡は、上流に中沢前遺跡、下流に浄禅寺跡遺跡、苗間東久保遺跡が隣接し、さかい川の対岸には富士見市の外記塚遺跡がある。

遺跡周辺は古くからの集落があり、現在でも大きな屋敷地が多く大きな開発もなかったが、ふじみ野駅の開設に伴い徐々に再開発が進みつつある。

本遺跡の最初の調査は 1987 年に大井町史編纂事業の一環として行われた。その後 1993 年に新駅へ延びる道路をはじめ、2020 年 4 月現在、57 地点で試掘調査および発掘調査が行われている。

これまでの調査で縄文時代中期後半～後期前半の住居跡、奈良時代から平安時代の住居跡、中世の建物跡などの遺構を検出した。



第 128 図 神明後遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第 64 表 神明後遺跡調査一覧表

地区地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	開発面積 (㎡)	調査面積 ()は試掘	調査原因	確認された遺構と遺物	備考	所収報告書
1	苗間 281-1	1993.5.6～11	615.47		共同住宅	溝、須恵器片等		町Ⅲ
2	苗間 295-2、299-3	1993.5.12～20	1,688		道路築造	古代住居跡 1、中近世掘建柱建物跡 多数、落とし穴、土坑、堀跡、井戸、 地下式坑		町Ⅲ
3	苗間 309-12	(1995.3.24～29) 1995.4.3～5.19	200.03		分譲住宅	縄文時代住居跡 1、土坑、ビット、 縄文土器等		町Ⅵ
4	苗間 302	(1996.6.17～19)	703.76		物置	遺構なし、縄文土器片		町Ⅵ
5	苗間神明後 395-5	(1997.3.15) 1997.3.15～4.2	80.17		個人住宅	縄文時代住居跡 1、土坑、溝、縄文 土器		町Ⅵ
6	苗間 255、227-2	(1997.9.29～30)	150.79		個人住宅	土坑、縄文土器片等		町Ⅶ
7	苗間 260	(1998.6.1～2)	1,460		個人住宅	地下室、縄文土器等		町Ⅷ
8	苗間 235-1	(1998.7.21～24)	458		共同住宅	集石土坑、土坑、溝、柵列、縄文 土器片		町Ⅷ
9	苗間 310-1	(1998.9.1～11) 1998.9.14～10.15	219		共同住宅	縄文時代住居跡 4、集石土坑、落と し穴、土坑、ビット、井戸、地下室、 縄文土器等		町Ⅷ
10	苗間 298-1	(1999.9.16)	44	(3)	個人住宅	遺構なし、縄文土器片		町Ⅸ
11	苗間 366	(1999.10.21) 1999.10.22～26	239	(97)	個人住宅	土坑、ビット、縄文土器等		町Ⅸ
12	苗間 282-2・5	(2000.3.6)	211	(8)	共同住宅	遺構遺物なし		町Ⅸ
13	苗間 302-1	(2000.4.17～19)	694	(154)	個人住宅	土坑、ビット、縄文土器等		町Ⅹ
14	苗間 252-2	(2000.8.18～23)	357	(196)	共同住宅	中近世掘建柱建物跡 1、土坑、ビッ ト、溝、井戸、柵列、縄文土器等		町Ⅹ
15	苗間 293-15	(2001.4.11) 2001.4.12～13	163	50	個人住宅	集石土器、縄文土器片		町Ⅺ
16	苗間 309-14	(2001.7.23～24) 2001.7.25～9.3	165	189	個人住宅	竪穴状遺構、屋外埋塞、土坑、ビッ ト、溝、地下式坑、地下室、縄文 土器等		町Ⅺ
17	苗間 369-1	(2002.3.28)	581	(7.5)	個人住宅	溝、砥石		町Ⅺ
18	苗間 304-1、303-6	(2002.5.15～25) 2002.5.27～6.24	672	(220)	分譲住宅	縄文時代住居跡 5、炉穴、土坑、溝、 ビット、堀跡		町Ⅻ
19	苗間 264-4	(2002.9.18～20)	216		個人住宅	溝		町Ⅻ
20	苗間 293-11	(2003.1.14～15)	143		個人住宅	ビット、溝		町Ⅻ
21	苗間 283-1	(2003.1.10～30)	674		土地造成	土坑、ビット、井戸、地下室、段切、 陶磁器		町Ⅻ
22	苗間 235-2・3	(2003.7.8～29)	430		分譲住宅	土坑、ビット、溝、井戸、陶磁器		町Ⅻ
23	苗間 253	(2004.4.9)	62		個人住宅	地下室、銭貨		町Ⅻ
24	苗間神明後 293- 4・10	(2004.9.30～10.7)	148		個人住宅	遺構遺物なし		町Ⅻ
25	苗間 295-1	(2004.9.30～10.7)	660		店舗併用住宅	遺構遺物なし		町Ⅻ
26	苗間神明後 301、 303-3～5・7、304-1	(2005.6.1～8) 2005.6.15～30	689	(160)	分譲住宅	縄文時代住居跡 1、土坑、溝、地下 式坑、縄文土器等		大調 18
27	苗間 248-2、249-1	(2005.7.20～25) 2005.7.27～29	385	(80)	共同住宅	縄文時代住居跡 1		大調 18
28	苗間神明後 306-1	(2006.5.8～31) 2006.6.29～10.5	2,171	(1,200)	宅地造成	縄文時代住居跡 11、古代住居跡 1、 屋外炉、集石、落とし穴、土坑、ビッ ト、溝、堀跡、縄文土器		市 3
29	苗間神明後 303- 21・24	(2006.5.8～11) 2006.5.12～19	135.9	(52)	個人住宅	ビット、溝、縄文土器		市 3
30	苗間神明後 303-1	(2006.5.8～19) 2006.12.14～19	101.13	(60)	個人住宅	ビット、縄文土器		市 3
31	苗間神明後 284	(2007.8.3～7)	499	(72)	個人住宅	土坑		市 4
32	苗間神明後 247-2	(2008.3.13)	136	(31)	個人住宅	遺構なし、泥面子		市 4
33a	苗間 240-2	(2008.4.25～5.16)	298	(209)	個人住宅	落とし穴、土坑、ビット、溝、井戸、 陶磁器等		市 6
33b			357		分譲住宅			
34	苗間字神明後 283-1、 284-1 の一部	(2008.4.30～5.15) 2008.5.16～28	1,693	(357)	分譲住宅	縄文時代住居跡 1、集石、落とし穴、 ビット		市 5
35	苗間字神明後 293- 6・20	(2008.8.1)	247	(26)	個人住宅	ビット、遺物なし		市 6
36	苗間字神明後 293-3	(2008.9.2)	165	(37)	個人住宅	遺構遺物なし		市 6
37	苗間 258-1 の一部	(2009.4.13) 2009.4.15～30	120	(27) 32.5	個人住宅	縄文時代住居跡 1、縄文土器		市 8
38	苗間字神明後 292- 13、293-1	(2009.7.6～7) 2009.7.8～14	265.4	(118) 30	個人住宅	溝、縄文土器		市 8
39	苗間字神明後 264-1	(2009.8.5～12) 2009.8.24～9.1	378	(114) 105	共同住宅	落とし穴、土坑、ビット、溝、地 下式坑、縄文土器		市 7
40	苗間 309-1	(2009.11.9～16) 2009.12.18～2010.1.15	156	47 (77)	個人住宅	竪穴状遺構、集石土坑、土坑、ビッ ト、溝、井戸、地下式坑、縄文土器		市 8

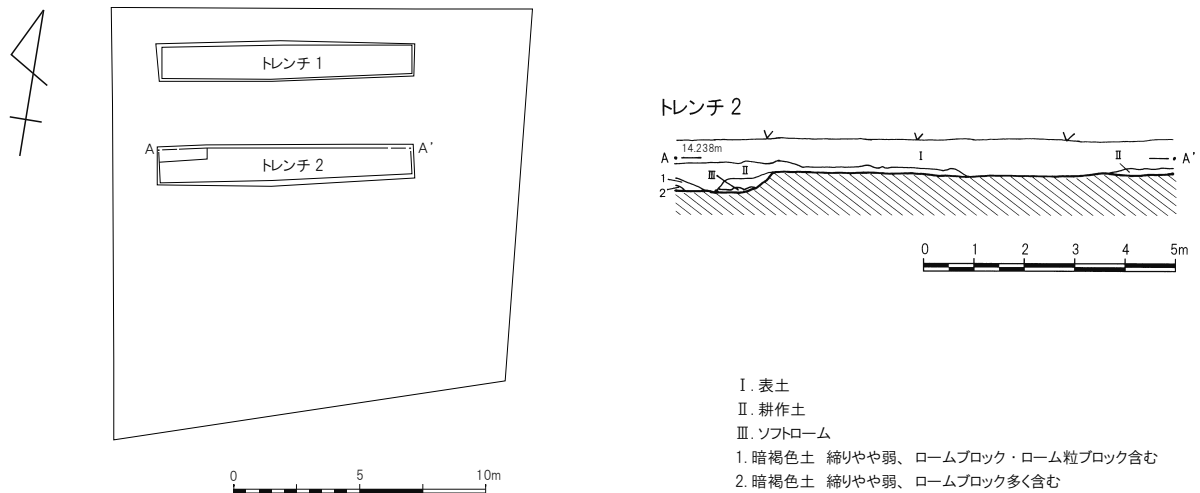
地区地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	開発面積 (㎡)	調査面積 ()は試掘	調査原因	確認された遺構と遺物	備考	所収報告書
41	苗間字神明後 298-1、 299-1 の各一部	(2010.5.25 ~ 6.7) 2010.6.15 ~ 7.21	486.36	(400) 286	共同住宅	中世掘立柱建物跡 1、竪穴状遺構、 石器集中、集石土坑、土坑、ピット、 溝、木炭窯、石器 等		市 9
42	苗間神明前 380-3	(2010.6.1 ~ 2)	312	(44)	宅地造成	遺構遺物なし		市 10
43	苗間 292-14	(2010.10.20 ~ 22) 2010.10.22	107	(42) 10	個人住宅	ピット、縄文土器 等		市 10
44	苗間神明後 367-1、 368-1 の一部	(2011.7.8) 2011.7.11 ~ 13	1,535.9	(63) 21	個人住宅	落とし穴、遺物なし		市 14
45	苗間神明後 235-9	(2011.12.5)	200	(61)	個人住宅	遺構遺物なし		市 14
46	苗間神明後 235-6	(2012.4.9 ~ 10)	233	(52)	個人住宅	土坑、縄文土器片		市 15
47	苗間神明後 227-2	(2012.4.24) 2012.4.25 ~ 5.10	340	(55) 27.5	個人住宅	集石、ピット、縄文土器片		市 15
48	苗間神明後 315-1 の 一部	(2012.5.7) 2012.5.8 ~ 14	171	(44) 26	個人住宅	土坑、ピット、溝、井戸、縄文土 器 等		市 15
49	苗間神明後 367- 1,368-6	(2013.1.30)	1,411.3	(8)	個人住宅	遺構遺物なし		市 15
50	苗間 375	(2013.12.11)	531.8	(31.7)	薬師堂	土坑、磁器 等		市 18
51	神明後 295-1、297-1・2 の一部、298-1、299-1	(2014.11.5 ~ 13) 2014.11.20 ~ 25	487.33	(116) 42.5	共同住宅	土坑、溝、縄文土器		市 16
52	苗間字神明後 231-1	(2015.1.28)	379	(44.4)	個人住宅	ピット、縄文土器片		市 20
53	苗間字神明後 298-1	(2015.3.19)	495	(14.5)	個人住宅	遺構遺物なし		市 20
54	苗間字神明後 293-7・9	(2015.12.3)	342	(6)	共同住宅	遺構遺物なし		市 22
55	苗間字神明後 310-1 の一部	(2017.5.8) 2017.5.9 ~ 12	180	(28) 27.44	個人住宅	縄文時代住居跡 2、土坑、ピット、 縄文土器 等		市内 24
56	苗間字神明後 374-34	(2019.11.11)	255.58	(30.3)	個人住宅	遺構遺物なし		市内 25
57	苗間字神明後 310-9	(2020.1.21)	146	(15.46)	個人住宅	遺構なし、縄文土器		市内 25

II 神明後遺跡第 56 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2019 年 8 月 23 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2019 年 11 月 11 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約 1.5m のトレンチ 2 本を設定し、重機による表土除去後人力による表面精査を行った。調査の結果、現地表面から地山ローム層までの深さが約 90 cm であるため、保護層の確保が可能であると判断し、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。



第 129 図 神明後遺跡第 56 地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/150)

Ⅲ 神明後遺跡第 57 地点

(1) 調査の概要

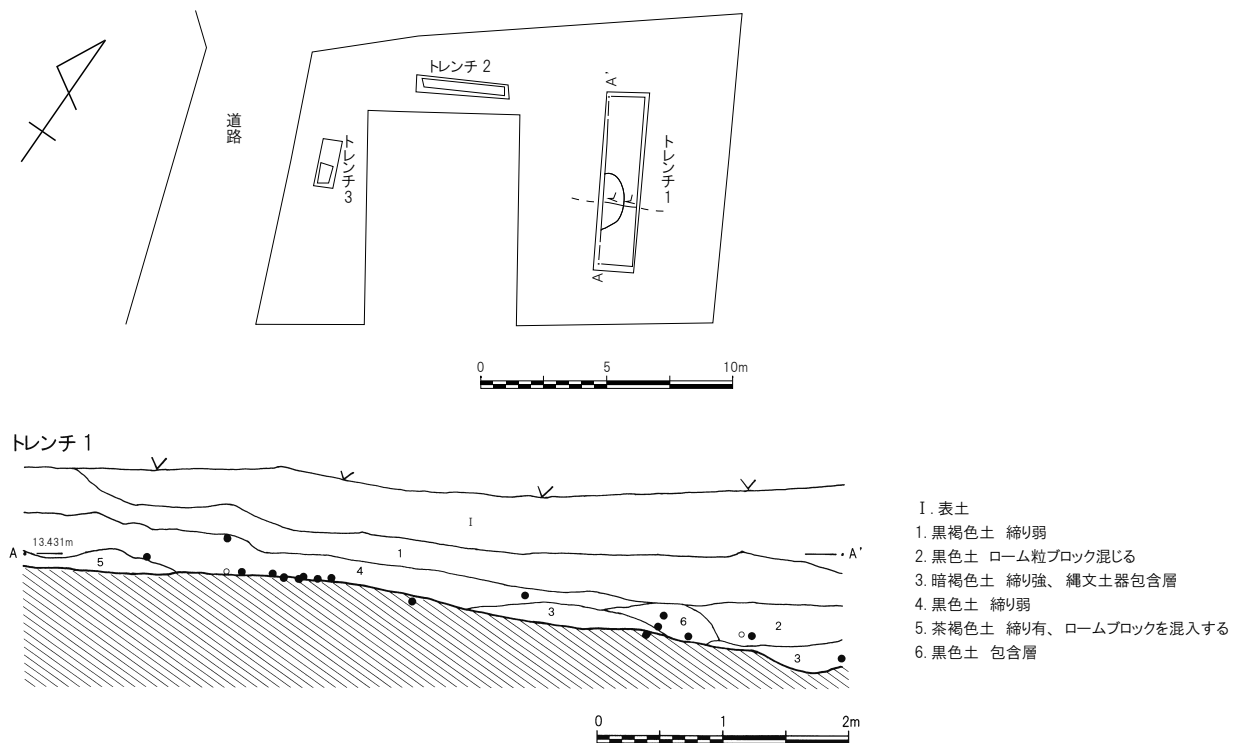
調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2019 年 12 月 4 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2020 年 1 月 21 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約 0.5 ～ 1.5m のトレンチ 3 本を設定し、重機による表土除去後人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 80 ～ 130 cm である。

調査の結果、覆土中に縄文土器片を多く含むが遺構は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

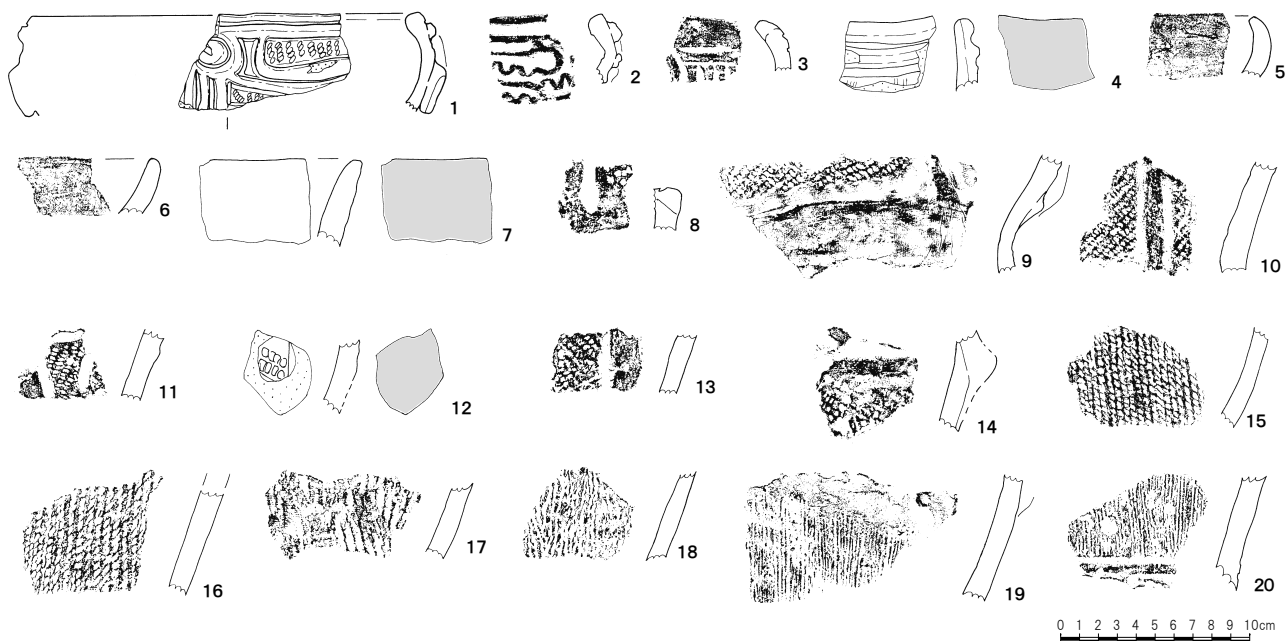
(2) 遺構と遺物

出土遺物は地山ローム層直上の縄文時代包含層からの出土が中心である。詳細については第 131 図及び第 65 表に掲載した。



第 130 図 神明後遺跡第 57 地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/60)

遺構外



第 131 図 神明後遺跡第 57 地点出土遺物 (1/4)

第 65 表 神明後遺跡第 57 地点出土遺物観察表 (単位 cm・g)

図版番号	出土遺構	種別・器種	技法・文様・備考	時期・型式
第 131 図 -1	遺構外	縄文・深鉢	口縁部、地文 LR 縄文、竹管状工具及び隆帯による施文・胎土に赤色粒子を含む	中期・加曾利 E I
第 131 図 -2		縄文・深鉢	口縁部、隆帯による施文・内外面黒色化、胎土に白色粒子を含む	中期・曾利式
第 131 図 -3		縄文・深鉢	口縁部、竹管状工具による沈線・内面黒色化、ハジケ・胎土に白色粒子を多量に含む	中期・加曾利 E I
第 131 図 -4		縄文・深鉢	口縁部、沈線による施文・内面に赤彩の痕跡有、内面ハジケ・胎土に白色粒子を含む	中期・加曾利 E I
第 131 図 -5		縄文・深鉢	口縁部、無文・外面にタール付着、内面ハジケ	中期
第 131 図 -6		縄文・深鉢	口縁部、無文・外面黒色化、胎土に砂礫を多く含む	中期
第 131 図 -7		縄文・深鉢	口縁部、無文・内面赤彩、外面の一部に煤付着、胎土に白色粒子を含む	中期
第 131 図 -8		縄文・深鉢	口縁部、口唇部に切れ込みと円形刺突文を施す・外面一部黒色化、胎土に白色粒子を多く含む	中期
第 131 図 -9		縄文・深鉢	胴部、地文 RL 縄文、隆帯による施文・外面赤化、内面ハジケ、胎土に白色粒子を含む	中期・加曾利 E I
第 131 図 -10		縄文・深鉢	胴部、地文 RL 縄文、2 本の縦位沈線・内外面摩耗が激しい、胎土に砂礫を多く含む	中期・加曾利 E I ?
第 131 図 -11		縄文・深鉢	胴部、地文 RL 縄文、2 本の縦位沈線・内面ハジケ、外面赤化、胎土に砂礫を多く含む	中期・加曾利 E I ~ II
第 131 図 -12		縄文・深鉢	胴部、LR 縄文、外面ハガレ、内面赤彩、胎土に白色粒子を多く含む	中期
第 131 図 -13		縄文・深鉢	胴部、地文 LR 縄文、縦位沈線・内外面摩耗が激しい、胎土に白色粒子を含む	中期
第 131 図 -14		縄文・深鉢	胴部、LR 縄文、隆帯貼付・内面黒色化、外面ハジケ、内外面とも摩耗が激しい、胎土に白色粒子を含む	中期
第 131 図 -15		縄文・深鉢	胴部、地文撚糸文・内面黒色化、ハジケ、胎土に白色粒子と砂礫を多く含む	中期・加曾利 E I ~ II
第 131 図 -16		縄文・深鉢	胴部、地文撚糸文・外面一部黒色化、内面ハジケ、煤、コゲ付着、胎土に砂礫を多く含む	中期・加曾利 E I ~ II
第 131 図 -17		縄文・深鉢	胴部、地文 LR 縄文か・内面ハジケ、全体的に摩耗が激しい、胎土に黒色粒子を含む	中期
第 131 図 -18		縄文・深鉢	胴部、細い撚糸文か・内外面被熱、外面赤化、胎土に砂礫を多く含む	中期
第 131 図 -19		縄文・深鉢	胴部、地文条線文、隆帯貼付か・外面黒色化、胎土に白色粒子を多く含む	中期・曾利式か
第 131 図 -20		縄文・深鉢	胴部、地文条線文、横位平行沈線・内外面ハジケ、内面一部煤付着、胎土に砂礫を多く含む	中期・曾利式か



神明後遺跡第 56 地点トレンチ 1



神明後遺跡第 56 地点トレンチ 2



神明後遺跡第 57 地点トレンチ 1

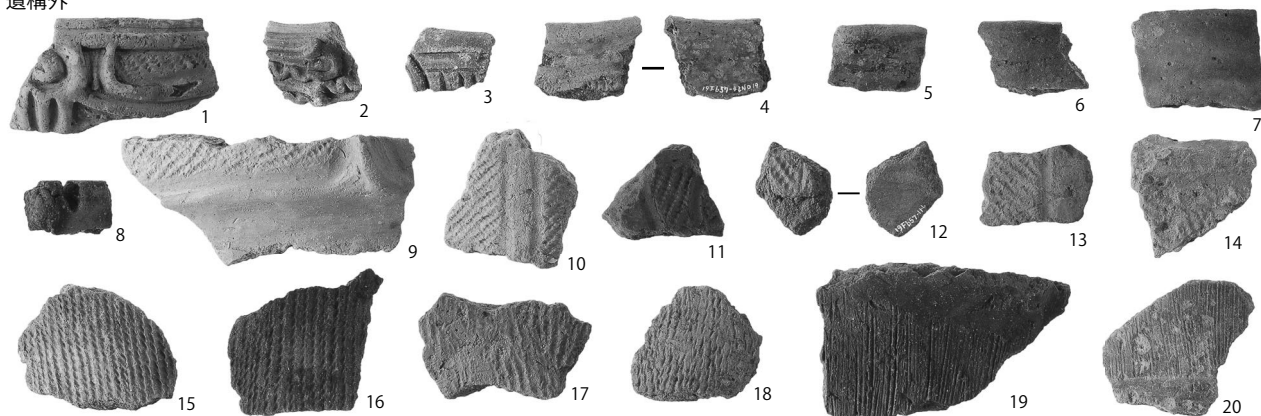


神明後遺跡第 57 地点遺物出土状況



神明後遺跡第 57 地点調査風景

遺構外



神明後遺跡第57地点出土遺物